



聖学院大学創立20周年記念

秋の講演会

入場
無料

これからの 日本社会の行方を問う

聖学院大学学長 阿久戸 光晴

悲惨な敗戦後、日本国憲法のもと自由な社会になったはずでした…。しかし現在、グローバリゼーションの激流の中、政治・経済・教育など、家庭から国家に至るあらゆる分野で難問が山積し、閉塞社会として曲がり角に直面している日本社会。この舵取りは今後さらに難しい局面を迎える。創立20周年を迎えた聖学院大学は、世の木鐸として日本国憲法の視点から今後の社会の行方を展望します。国際平和・人権・主権・地方自治・脱貧困・異文化共生・福祉社会などの根本問題を、第一級の講師陣と共に学生を含む本学の総力を挙げて探究していきます。

「平和国家」と「福祉国家」 の現代的意義 -日本国憲法第9条と第25条1項(生存権)-

10/8 Wed 11:00~12:30
●会場／聖学院大学チャペル

「平和」と「福祉」こそ、現代において人間らしく生きるために必要な二つの条件である。そもそも日本国憲法9条が設けられた理由は、軍隊と戦争についての伝統的な考え方から、第二次世界大戦後にもはや成り立たなくなってしまったことにある。ところが冷戦に入り、「抑止力論」によって巨大な軍拡競争が起きてしまった。その結果、ソ連は経済的疲弊のうちに崩壊し、アメリカも膨大な軍事費による「双子の赤字」にあえいでいる。他方で日本は、母子家庭生活保護や後期高齢者医療負担などの問題に苦しみ、その相対的貧困率はOECD加盟国中第2位となっている。これからの日本の進路こそ、憲法9条(戦争の放棄)および25条1項(生存権の保障)の原点にたつことではないだろうか。

●コーディネーター 阿久戸 光晴(聖学院大学学長)



杉原 泰雄 SUGIHARA Yasuo

一橋大学名誉教授、日本公法学会理事。1930年生。一橋大学研究科博士課程修了(法学博士)。同法部専任講師、助教授、教授を経て法部長。この間、東京大学等でも教鞭。駿河台大学名誉教授。全国憲法研究会元代表。主著に『国民民主権の研究』(岩波書店)、『人民主権の歴史的展開』(岩波書店)、『國民主権の歴史的展開』(岩波書店)、『平和憲法』(岩波書店)、『憲法と国論』(有斐閣)、『憲法と資本主義』(勁草書房)。

「なぜホスピスが必要か」

11/7 Fri 14:00~15:30(13:00受付開始)
●会場／聖学院大学チャペル 要申込

日野原先生は97歳の現在も、臨床医の傍ら、執筆、講演など国内外で活躍中。日本の医学・看護学、医療専門職教育の革新に尽力されている。いま、超長寿社会の進むなかで、いかに生きるかが、ひとり一人に問われている。この機会に、ぜひ、日野原先生のお話に耳を傾け、日野原先生のお人柄と病む人およびその家族に接する姿勢をつぶさに学び、明日への生きる糧となることを願っている。



日野原 重明 HINOHARA Shigeaki

聖路加国際病院理事長、財団法人ライフ・プランニング・センター理事長。1911年山口県に生まれる。京都大学医学部卒業、同大学院修了。聖路加国際病院院長、聖路加看護大学学長を歴任。1998年東京都名誉都民、1999年文化功労者、2005年文化勲章受章。2000年には「新老人の会」を発足、会長に就任。早くから一般の人々への健康教育・予防医学・医療の重要性を指摘し、「生活習慣病」という名称を生み出す。終末期医療の普及、音楽療法の普及に取り組むなど、常に日本の医療の最先端でリードしている。著書は一般向けだけでも200冊を超え、「死をどう生きるか」「老いを創める」「生き方上手」「人生・これから本番」「10歳のきみへ」「今伝えたい大切なこと」など多数。

「市民を幸せにする自治体」

10/1 Wed 11:00~12:30
●会場／聖学院大学チャペル

荒川区では「区民を幸せにするシステム」という考えのもと、2007年に「幸福実感都市」を将来都市像に掲げた基本構想を策定した。環境先進都市や生涯健康都市といった内容を含む幸福実感都市づくりを中心に自治体経営を語って頂く。

●コーディネーター 平 修久(聖学院大学政治経済学部教授)



西川 太一郎 NISHIKAWA Taichiro

東京都荒川区長・聖学院大学客員教授。1942年生まれ。早稲田大学商学部卒業。東京都議会議員を4期、衆議院議員3期(この間、防衛省政務官、経済産業大臣政務官、経済産業副大臣などを歴任)務め、2004年荒川区長就任。現在1期目。聖学院大学客員教授、中小企業政策審議会委員などを兼任。著書は、「経営管理の思想家たち」共著(早稲田大学出版会)、「地域経営と産業クラスター」共著(八千代出版)、「産業クラスター政策の展開」(八千代出版)など。

「アメリカ民主主義のゆくえ」

10/29 Wed 要申込

10:40~12:15 ●会場／聖学院大学チャペル

元アメリカ学会長。一橋大学名誉教授。1955年東京大学院修士課程修了、同大学院社会科学研究科博士課程入学後、スタンフォード大学院およびプリンストン大学院に留学。1979年一橋大学法部教授に就任。2001年聖学院大学院アメリカ・ヨーロッパ文化研究科教授就任。主な著書に「近現代世界の国際関係史」研究社2003年、「ヒストリカル・ガイド アメリカ」山川出版社2004年等がある。



有賀 貞 ARUGA Tadashi

「日本の東アジア外交と朝鮮半島」

10/15 Wed 11:00~12:30
●会場／聖学院大学チャペル

冷戦の崩壊から十数年が経過した今日、唯一、冷戦時代の政治地図から脱出できない東アジア。この地域で真に冷戦を終結させるために、いま日本に求められていることは何だろうか。金大中政権の統一省長官だった康仁徳氏と政策通として活躍する衆議院議員枝野幸男氏が、流动する東アジア情勢と日本外交のあり方を熱く語る。

●コーディネーター 小田川 勇(聖学院大学食育研究所客員教授、元朝日新聞ソウル支局長)
石川 裕一郎(聖学院大学政治経済学部准教授)



康 仁徳 KANG In Duk

1968年、韓国外国语大学院修了、政治学博士。韓国中央情報部中共・ソ連分析官、北韓課長、海外情報部長、北韓局長兼南北調節委員などを歴任。1979年、(財)極東問題研究所を創立、同所長に就任。1998年、金大中政権の統一省長官。1999年7月より現職。著書に「共産圏総観」、「北韓全書」、「共産主義と統一戦術」、「言語・政治・イデオロギー」、「北朝鮮問題をどう解くか」(編著)他多数。



枝野 幸男 EDANO Yukio

衆議院議員。1964年生まれ。東北大法部卒。弁護士。1993年埼玉5区から衆議院議員に初当選し、曾厚相と共に憲法エイズ問題を追及。金融再生法を成立させ、30代で政調会長を務めマニフェストを取りまとめるなど、「政策新人類」との評価を得る。2005年から民主党埼玉県連代表を務め、同年埼玉5区から衆議院5選を果たす。国会ではキャノンの偽造詐欺問題、周産期医療問題、民法722条問題等を追及。2006~07年、予算委員会野党筆頭理事。2007~08年、衆議院決算行政監視委員長。

「生きること・食べること・育てるこ

11/1 Sat 16:30~18:00
●会場／聖学院大学教授会室 要申込

10:40~12:15 ●会場／聖学院大学チャペル